2011.8.30発行
奄美野生生物保護センター
〒894-3104　鹿児島県大島郡大和村思勝551
TEL：0997-55-8620　FAX：0997-55-8621
URL：http://www.vill.yamato.lg.jp/yamato05/default.asp

編集・発行
奄美自然体験活動推進協議会
通巻41号

奄美野生生物保護センター
ニュースレター

奄美の風だより

ツルラン

毎年の事ながら高い気温と湿度のため、息苦しい毎日が続きますね。今年は節電の夏ということで緑のカーテンを利用している人が増えているようです。植物の断熱効果でいつもより涼しい夏を過ごしている方もいらっしゃるのでしょうか。

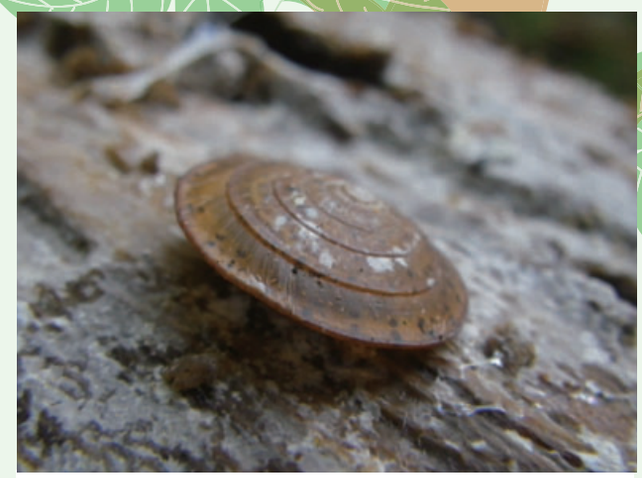
さて、人にとってはつらい夏ですが、植物は青々と葉を茂らせ、生命力がみなぎっています。その中で、色・姿、そして香りも楽しませてくれるランはひときわ目を引きます。

品種改良されたランもありますが、野生のランには力強さを感じ、そのままでもとても美しいです。しかし、その美しさゆえに盗掘が後を絶ちません。県の保護条例で採取が禁止されている種を売買目的で採取した人が逮捕されたのは、つい最近の事です。売買目的とは許されない行為ですが、個人の観賞のための採取もよく聞きます。「売るわけではない。自分が楽しむだけ。多くは採らないし。」と、言う人がいます。本当にそれでよいのでしょうか。昔から、山に生える植物を採ってきて庭に植えることはあったことでしょう。しかし、誰もかもがそれをずっと続けていけばどうなるのでしょう。百年後、二百年後の後世にこの豊かな自然を残せるのでしょうか。私たちの時代で、奄美の資源を使い果たすことは誰も望まないのではないでしょうか。

（吉田）

今の時期に見られる動植物

フトモモ
低地～山地の渓流沿いに生えるインド原産の常緑高木。球形または卵円形の実がなる。芳香があって、甘く、生食できる。



タカカサマイマイ
鹿児島県島嶼域の固有種。準絶滅危惧種。殻はやや小型で、うすく、平たいレンズ形。照葉樹林等の林床の落葉層に生息している。

カシノキラン
常緑広葉樹の樹幹に生える着生ラン。絶滅危惧Ⅱ類。和名の「樫の木蘭」はカシ類に多く着生することから。

ゴマモンガラ（写真は幼魚）
鋭い歯をもち、とくに産卵後(夏)の巣を守る親は攻撃的で、人間にも突進してくることで知られる。ウニ類やカニ類を好み、貝をも噛み砕くことができる。

その他にも
ヒメハルゼミ、クロイワツクツク、クマゼミがいます。

今季の一枚　「セミ」

奄美群島に生息するセミは全部で7種います（島によって生息するセミの種数は異なります）。
大合唱をしているのを聞くと、やかましい・・・の一言で終ってしまいがちですが、よくよく聞くと、1種類だけではなく、何種類かの鳴き声を聞きわけることができます。鳴き声で種を判別するのは難しいですが、時期・時間・場所からある程度絞りこむこともできます。みなさんがよく聞く鳴き声は、どのセミのものか分かりますか？是非調べてみて下さい。興味が湧けば、ただのうるさい大合唱ではなく「蝉時雨」となんだか雅な感じで例えられている理由が少し分かるかも？しれません。

参考文献　鹿児島県レッドデータブック（鹿児島県環境生活部環境保護課）　原色日本クモ類図鑑（保育社　著者：八木沼健夫）　聴き歩きフィールドガイド奄美（文一総合出版　解説：鳥飼久裕）
琉球弧野山の花（南方新社　監修：大野照好/写真と文：片野田逸郎）　沖縄魚図鑑（沖縄マリン出版　著者：悦秀満）　奄美の絶滅危惧植物（南方新社　著者：山下弘）

奄美群島市町村だより

自分たちの地域の魅力を再発見し、また他の地域のことを知り、奄美の自然について理解を深めましょう。

今回は
大和村
です

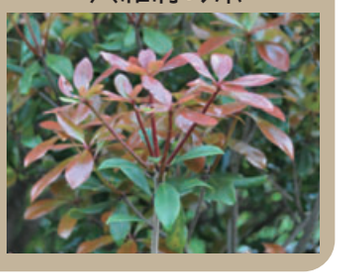
ワダツミノキ

大和村は奄美大島の中央部に位置し、北は東シナ海、背後には緑深い山々が広がり、琉球列島最高峰の湯湾岳がそびえ立っています。

【モッコク】

古くより建築材や舟の櫂や櫓の材として利用し、村民から親しみ深いことから指定されました。春先に深紅色の新芽が山々を彩る。

大和村の木



おすすめ

観光名所 『 奄美フォレストポリス 』

ハネナガチョウトンボ

ミカワタヌキモ

奄美フォレストポリスは大和村福元盆地にあり、自然散策が手軽にできるよう整備されています。敷地の「水辺の広場」には人工池があり、今の季節は多種多様なトンボが飛び交う姿を観察することができます。なかでも、日本では奄美大島でのみ生息が確認さているハネナガチョウトンボも観察することができます。台湾、ベトナムに分布する種ですが、1993年に初めて奄美大島の大和村で確認されました。翅の基部は光の当たり具合で青や紫色など美しく輝き、オス同士の激しい縄張り争いの様子もなかなか迫力があります。また、水面からは奄美大島の中ではここでのみ生育が確認されている、食虫植物のミカワタヌキモの黄色い花が顔を出している様子なども楽しむことができます。

ホテイアオイ

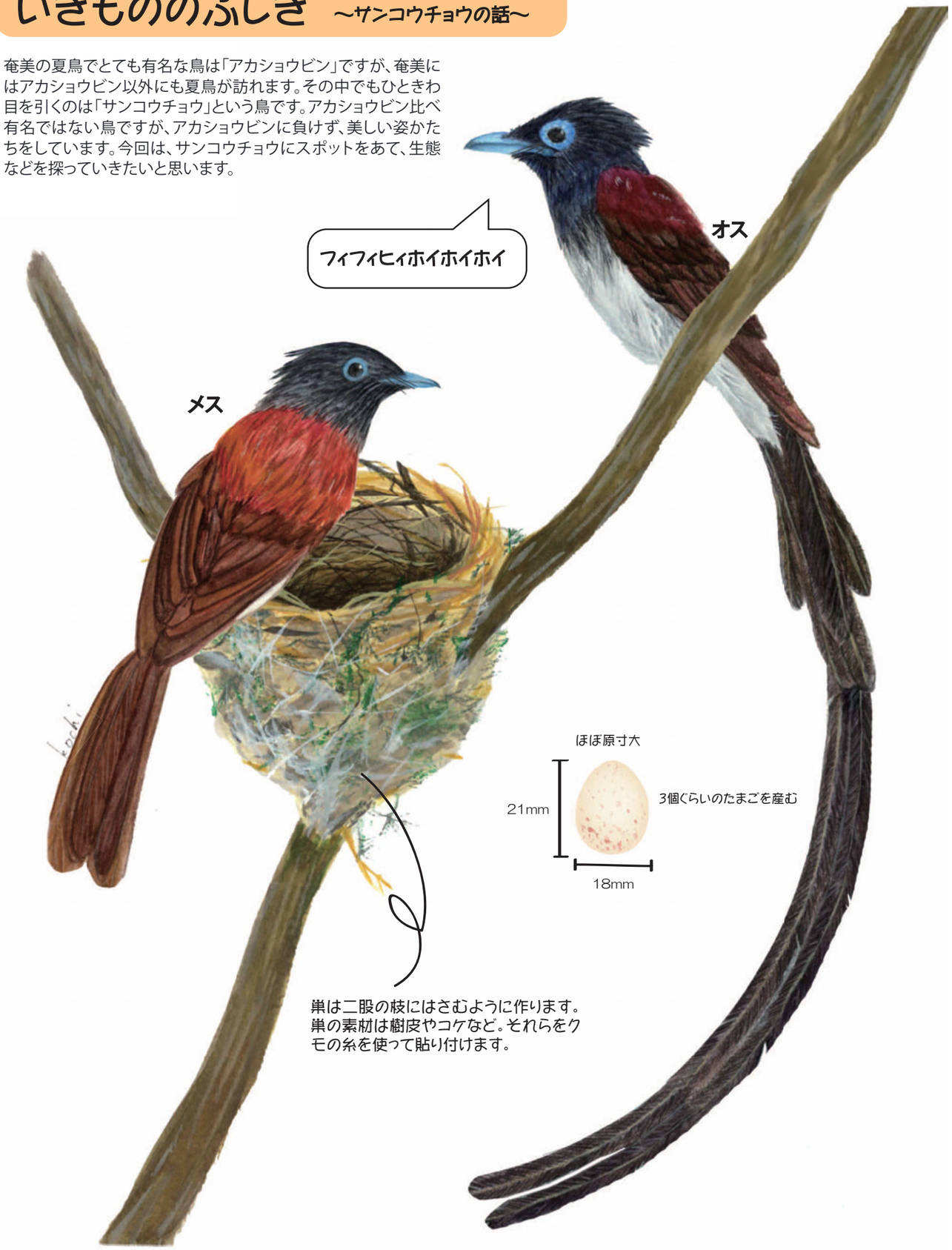
しかし、この池は昨年までホテイアオイが水面全体を覆い、多くの生きものにとって住みにくい環境になっていました。ホテイアオイはもともと南アメリカ原産の水草で、日本には明治時代に観賞用として入ってきたと言われています。水質浄化の効果を期待され各地のビオトープなどに導入されていましたが、写真のように水面を覆ってしまうので、水の流れの阻害し、トンボなど昆虫の産卵や在来植物の生育地を奪うなど問題が発生しています。

大和村役場では、昨年このホテイアオイの除去作業にあたり、トラック６０杯分ものホテイアオイを人力で除去しました。今年は昨年の様に一面にホテイアオイが繁茂する様子はありませんが、まだ残っている株を随時除去していきたいと思います。一度入った外来生物を完全に取り除くことはとても困難なことだと身をもって痛感しました。今後も奄美在来の生きものが生息できる環境を守り、大和村へお越しいただく皆様に楽しんでいただけるよう活動していきたいと思います。

ホテイアオイ除去後

いきもののふしぎ　～サンコウチョウの話～

奄美の夏鳥でとても有名な鳥は「アカショウビン」ですが、奄美にはアカショウビン以外にも夏鳥が訪れます。その中でもひときわ目を引くのは「サンコウチョウ」という鳥です。アカショウビン比べ有名ではない鳥ですが、アカショウビンに負けず、美しい姿かたちをしています。今回は、サンコウチョウにスポットをあて、生態などを探っていきたいと思います。



サンコウチョウ
Terpsiphone atrocaudata
スズメ目カササギヒタキ科

全長：オス　44.5ｃｍ
　　メス　17.5ｃｍ

春になると南方から渡ってきます。トカラ列島以南に渡ってくるのは亜種「リュウキュウサンコウチョウ」です。低山の薄暗い林に住んでいます。声はよく聞きますが、その姿を見ることはなかなかできません。オスの一番の特徴は、体長の３倍にもなる長い尾羽です。

名前『三光鳥』の由来

鳴き声がツキヒホシ（月日星）ホイホイホイと聞こえるため、三つの光の鳥、三光鳥と名付けられました。

サンコウチョウを呼ぼう!!

サンコウチョウの鳴き声を聞いたら、口笛で鳴き声をまねてみて下さい。口笛に呼ばれ姿を見せてくれるかもしれません。

サンコウチョウの豆知識

その１
本州に渡ってくるサンコウチョウは数が年々減少していますが、リュウキュウサンコウチョウの数はあまり変化がないそうです。

その２
オスの方がメスより目立つ色やかたちをしている鳥では、一羽のオスが複数のメスとつがいになるのが一般的です（一夫多妻）。しかしサンコウチョウは、オスが目立つ尾羽を持っているのに一夫一妻で、オスとメスが同じくらい熱心に子育てをします。

～サンコウチョウの短歌・俳句～

水に似て空の明けゆくしじまにて三光鳥の鳴く森くらし　中西悟堂

蝉しぐれ三光鳥は翔けくぐり　木津柳芽

夏鳥とは？

春に南方の地域から渡ってきて繁殖し、秋には帰っていく鳥。
奄美には、アカショウビン、サンコウチョウ、ベニアジサシ、コアジサシ、エリグロアジサシ、ツバメチドリなどが渡来します。

アカショウビン

参考文献　奄美の野鳥図鑑（NPO法人奄美野鳥の会）　いろいろたまご図鑑（ポプラ社　発行者：坂井宏先）

センター & 協議会 News

お知らせ

アマミノクロウサギ交通事故防止キャンペーン

時期：10月1日～10月31日
アマミノクロウサギの交通事故の発生が多い秋期に、地域住民や観光客等に対する安全運転の呼びかけなど、本種をはじめとする希少な野生生物の保護に関する普及・啓発を図るキャンペーンを展開します。

9月から12月にかけてアマミノクロウサギの交通事故死が増加します！　夜間の運転には特に注意して下さい。

報告

役勝川の生きもの観察会

とき　：平成23年7月25日（月）
場所：奄美市住用町役勝川
瀬と淵の生きものの違いを観察しました。みんな夢中に生きもの採取をしていて楽しそうでした。

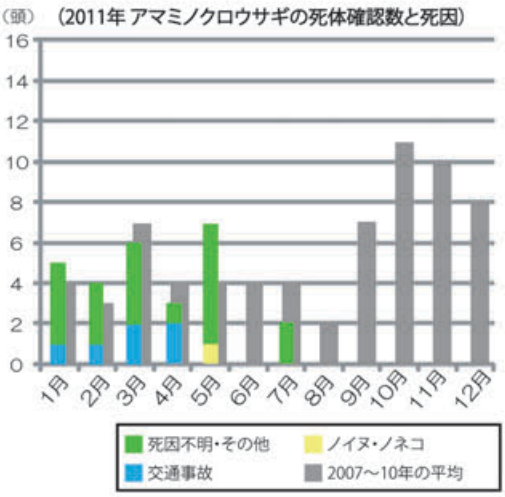
ゆりむんでキャンドルスタンドを作ろう!

とき　：平成23年8月8日（月）
場所：大和村（奄美野生生物保護センター）
サンゴや貝、シーグラスなどのゆりむんを使ってキャンドルスタンドを作りました。

どきどき☆ナイトウォーク

とき　：平成23年8月20日（土）
場所：奄美市住用町
ホタルやカエルなど、多くの生きものを観察することができました。

アマミノクロウサギ死体確認数



※アマミノクロウサギがケガをしていたり、死んでいるのを発見したら奄美野生生物保護センターまで連絡して下さい。

奄美に住む動物たちのために、あなたができること

安全運転

林道では20km/h以下で走行しましょう。

犬・ねこの適正飼育

- **捨てない**
  最後まで責任をもって飼いましょう
- **マイクロチップ**
  ペットの確実な身元証明になります。

- **不妊・去勢手術**
  繁殖制限することで、望まない命を生み出さないことと、ペットの健康を守ることになります。

犬・ねこに関するお知らせ

野生生物の保護及び飼い犬・飼い猫の適正飼養を推進するため、飼い犬・飼い猫へのマイクロチップの装着支援を今年度も行っています。用意したマイクロチップは200本で、なくなり次第終了となります。動物病院で無料で行っていますので是非ご利用下さい。
※対象地域は奄美大島と徳之島です。

生きものおもしろ写真館

アカスジカメムシ

オレンジと黒のストライプがとてもカッコイイカメムシです。オレンジ色の部分は、色の濃淡や幅に変異が多いそうです。セリ科の植物の樹液を吸います。

参考文献
日本原色カメムシ図鑑（全国農村教育協会　監修：友国雅章）

編集後記

夏といえば海！海でたくさん泳いで真っ黒に日焼け！と、言いたいところですが、今年はまだ1回も海に入っていません。目の前にあるのに入らないとは、なんともったいない夏を過ごしています。昨年の豪雨災害にも負けず、生き残ったサンゴたちを見にいかなくては本当にもったいない・・・。

奄美自然体験活動推進協議会　〒894-3104　鹿児島県大島郡大和村思勝551 奄美野生生物保護センター
TEL：0997-55-8620　FAX：0997-55-8621　Email：amami_rabbit@public-yamato.jp　（事務局）大和村役場総務企画課
URL：http://www.vill.yamato.lg.jp/shizentaiken/default.asp